

式 辞

暖かな春が訪れ、花も盛りの、まさに、春爛漫の良き日に、埼玉県立越谷南高等学校 第四十九回入学式を挙行できますことは、本校関係者一同大きな喜びでございます。

ただ今、入学を許可いたしました三五九名の新入生の皆さん、入学おめでとうでございます。在校生、教職員一同、心から歓迎いたします。

保護者の皆様方におかれましても、お子様のご入学、おめでとうでございます。心からお慶び申し上げます。お子様が大人へと成長する手助けを、教職員一同、精一杯努めさせていただきます。

また、本来ならば、多くのご来賓をお迎えし、一緒に入学を祝福するところでしたが、制限がある中での入学式となりました。保護者の皆様には、別会場にて式典の様子を御覧いただいております。感染予防対策のために、このような形になってしまいましたが、どうかご理解をいただきたいと存じます。

さて、新入生の皆さんに申し上げます。

本日の喜びは、皆さんの、たゆまぬ努力によることは言うまでもありませんが、いつも、温かく支えて下さったご家族の方々、そして中学校の先生方など、周囲の支援があったことを、忘れてはなりません。

本日の入学式に当たり、これまでお世話になった方々に素直に感謝し、これからは、越谷南高校の生徒として、更に一層勉学精進する事を、心に誓って欲しいと思います。

本校は昭和49年に開校し、創立49年目を迎える普通科と外国語科を設置する学校です。ICT環境の充実、国際理解教育の推進など、特色ある教育活動を展開しています。また、進路についても県内有数の進学校として高い実績を挙げており、部活動では、県外にも強豪校として名をはせる部活動が数多くあります。新入生の皆さんは、新たな学友と共に、校訓でもある「文武両道」のもと、人間性を磨き、進路実現に向けて努力してください。私たちは皆さんの夢を全力で支援していきます。皆さんの高校生活が始まるにあたり、私の希望とお願いを二点お話しします。

一つ目は、「将来を見据えた目標をたてる」ことです。

高校生活は、忙しくまた充実した日々となっていきます。しかし、ともすればその忙しさに追われ、将来をイメージできないまま日々が過ぎ去ってしまうことがあります。

将来自分がどのような進路に向かい、どのような活動をしていきたいか、それをしっかりと見据える。そして、今、そのためには何を学び、何をすべきか、何が最善なのかを考えてください。

より充実した三年間の高校生活となるように、今から将来を見据え、そのための目標を立

てて学校生活を送ってください。

二つ目は、「授業と部活動等に積極的に取り組む」ことです。

当たり前のことですが、学習習慣を身に付け、授業には真剣に取り組んでください。きちんと予習をして授業に臨み、その後再確認する復習を欠かさず、確かな学力を身に付けてほしいと思います。

また、部活動に積極的に取り組むことで心身を鍛え、向上心、責任感、忍耐力、さらにはコミュニケーション能力を身に付け、より好ましい人間関係を育てて欲しいと願っています。

これから始まる高校生活では、様々なことにチャレンジし、粘り強くやり抜いてください。

次に、保護者の皆様にお願ひがあります。

出来るだけ、お子様と一日に一度は、学校の話をしてください。高校時代は親離れを遂げ、自立への歩みを強める時代です。しかし、その中で夢を追い求め、悩み、迷う時代でもあります。授業のこと、部活動のこと、友達のこと、先生のこと何でも結構です。様々な話をしてください。そしてその中からお子様の成長や悩みを感じ取り、また受け止めてあげてください。きっとお子様の自立を陰から支えてあげる大切な時間となります。

本校の教職員は、豊かな経験と、各教科科目における高い専門性、卓越した指導力を兼ね備えています。本校のすべての教職員が力を結集して、お子様の教育に使命感と情熱を傾けて、一人一人を成長させるとともに進路希望を実現させることに全力を注いでまいります。

どうか保護者の皆様方におかれましても、越谷南高校を信頼し、連携を図っていただくとともに、力強いご支援、ご協力をいただけますようお願い申し上げます。

結びに、皆様方の益々のご健勝、ご発展をご祈念申し上げ、式辞といたします。

令和四年四月八日

埼玉県立越谷南高等学校長

井上 一也